



# 朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和7年 3月26日 (水)

修了式号 児童数 393名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakada9shou.city-asaka.ed.jp>

【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」

すすんで学ぶ子 思いやりのある子 **たくましい子**

【めざす学校像】 「元氣なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」



## 全てに感謝の気持ちを込めて

校長 小林美加

3月21日に、6年生との「お別れ式」を行いました。1～5年生の代表者がおめでとうの気持ちを込めて、お別れの言葉を伝えました。式が終わると、6年生は在校生の作った列の花道を通して退場しました。その様子がとても微笑ましく、九小の子供達の仲の良さを感じることができて嬉しく思いました。3月24日には、ご来賓、学校運営協議会委員並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、在校生代表の5年生が参列して第43回卒業証書授与式を挙行することができました。厳かな中に温かみがあり、感動あふれる式となりました。71名の卒業生は、一人一人自分の夢を語り、卒業証書を手に九小を巣立っていきました。また、在校生代表として式に参列した5年生は、立派な態度でした。「別れのことば」の呼び掛けの中で、6年生から最高学年としてのバトンを引き継ぎ、これから自分達が九小を牽引していくのだ、という決意を力強く表してくれました。そして本日、令和6年度の修了式を迎えました。子供達はそれぞれの学年の教育課程を修了し、次の学年に進級します。様々な行事や日々の学習、生活を通して、大きく成長した1年間だったと思います。これも保護者や地域の皆様のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

さて先日、『親と教師にとって、すごく大切なこと (ロン・クラーク著・松本剛史 訳)』という本をみつけて読んでみました。小学校の教師として実際に学校で行った授業の様子から、私達大人が子供達に接するときのヒントが読み取れました。著者は終わりに「一教師の及ぼす影響から子供達の意欲がかきたてられ、人生で会う人達すべてに思いやりと感謝の気持ち、ユーモア、そして愛情をもって接するようになってくれるかもしれない。」「両親から教えられた教訓を、私に寄せる信頼を、その無条件の愛を決して忘れない。」と述べていました。これからも、子供達への関わり方やどのような活動や学習に取り組ませていくかなどを常に考えながら、**来年度も、子供達がやる気を出し、自信をつけ、夢を追いかけ、幸せを感じることができるよう、チーム九小として教職員一同、よりよい指導にあたって参りたいと思います。**

明日から春休みになりますが、この休み期間中に保護者の皆様も子供達と一緒に1年間を振り返るとともに、新たな学年でも自分のよさを伸ばして頑張っていくことができるような**無条件の愛と信頼に満ちた言葉がけをお願いしたい**と思います。事故やケガ、体調に気を付けて、楽しい春休みをお過ごしください。**この1年間、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、本当にありがとうございました。**